

平成23年第6回(11月)瀬戸内市議会定例会

教育委員会行政報告

市長の一般行政報告に続いて、教育委員会から8件の行政報告をいたします。

玉津小学校の統廃合について

教育委員会では、平成19年度に瀬戸内市学校通学区域等検討委員会から答申を受け、以来玉津小学校の統廃合に向けての説明会を開催してきました。ただ、統合先の邑久小学校が、耐震診断の結果、耐震補強工事の必要なことが判明し、教育委員会としては、まず子どもたちが安全な環境の中で安心して学校生活を送ることが緊急の課題であると考え、学校施設の耐震化を最優先に進めることを地元説明し、ご承認をいただき一時協議を中断しておりました。

邑久小学校の耐震化が今年度には終了し、児童の安心・安全な校舎が確保できるということ、さらに、玉津小学校の入学生が、平成25年度から3年続けて1人となり、完全複式になるということにより、改めて今年7月、保護者から統廃合に向けて強い要望があり、保護者や地元行政委員等との統廃合に向けての協議を行い、議論の末最終的には保護者の要望を地元として支えていこうということで、ご理解をいただくことができました。

これを踏まえて教育委員会としても、子どもたちの教育全般を考えたとき、集団性、社会性、コミュニケーション能力、さらには生きる力の育成などの面から統合すべきであると判断したところでございます。

今後、平成24年度には複式授業の解消や地元の皆さんと協議しながら統廃合に向けての具体的な準備作業を行い、平成25年4月に邑久小学校に統合する運びにしています。

おかやま教育週間について

岡山県では、毎年11月1日から7日までを「おかやま教育週間」として、学校・家庭・地域社会が一体となって“地域の子どもは地域で育てる”という気運を盛り上げていこうとしています。本市でもこの期間に合わせ、11月4日を「教育の日」として幼稚園・小学校・中学校で様々な取組を行いました。

主な取組としては、この日を学校公開日として幼稚園・小学校・中学校の活動や授業を自由に見ていただいたり、幼児・児童が地域の方や保護者と触れ合う「お祭り」を実施したり、講演会やコンサートを開催して地域の方にも自由に参加していただいたり、保護者を対象に給食試食会を実施したりと、学校・園でそれぞれ工夫した取組が行われました。その結果、この日に市内の幼稚園・小学校・中学校を訪問してくださった方は、延べ人数約2,300人にのぼりました。

た。

教育委員会としましては、このように多数の方にご参加いただき、大変ありがたいことと感謝しております。今後も、さらに学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育てていけるよう、学校支援地域本部の事業を推進役として、学校・園に地域の方が関わっていただける体制作りや、様々な取組の工夫に努めていきたいと考えております。

牛窓東小学校校舎耐震改築工事について

牛窓東小学校校舎耐震改築工事につきましては、企画提案、技術提案によるプロポーザル方式で設計業者を決定し、学校、教育委員会、設計業者で基本設計について協議を行い、PTA役員からもご意見をいただき基本設計業務が完了しております。

建物は鉄筋コンクリート造り3階建てで、外観は景観条例で定められた牛窓眺望景観形成重点区域にマッチした、白い壁とオレンジの屋根の校舎で、子どもたちの快適で機能的な学習環境を確保するための教室配置にしています。また、高潮対策では1階床高を1メートル高くするとともに、津波対策として屋上広場を設置し、全校児童が緊急の場合に避難できる場所を確保しており、合わせて3階に防災備蓄倉庫を設置しております。その他、校舎南面屋根に太陽光発電パネルを設置し、環境に配慮した設計となっています。

今年度中には基本設計に基づき実施設計及び建築確認業務を行い、平成24年度に工事着手し、外構工事を含めたすべての工事の完成は平成25年にまたがる見込みです。

小中学校教室扇風機の設置について

ここ最近の夏の厳しい暑さで、日本各地で熱中症が多発しております。地球温暖化による気温上昇傾向が続く中、気象分析によりますと、今後も異常高温の夏が増加すると予想されています。

そこで、教育委員会では、猛暑対策として、各小中学校の普通教室等に扇風機を設置し、教育環境の改善を図りたいと計画しております。

具体的には普通教室に2台、特別教室に3台の天井取付型の扇風機を設置して、学習環境を改善し学習効率の向上に努めたいと考えております。そのための必要経費を今議会で補正計上しており、来年の6月ごろまでには整備したいと考えておりますのでよろしくお願いたします。

美術館企画展・特別展の開催について

10月1日に開館1周年を迎えた美術館では、開館記念日として市民に無料開放や1日カフェを行い166人の来館者がありました。

今後、岡山県重要無形文化財保持者認定記念として「虫明焼 黒

井千左 作陶展」を12月1日から開催します。また、初めての特別展として、日本画壇の重鎮であった、日本画家「平山郁夫展「 - 次世代への伝言（メッセージ） - 」を平成24年1月13日から2月26日まで予定しております。特別展では平山画伯が絵に託して未来へ伝えようとした思いを広く知っていただくとするものです。

さらに、画壇の仙人と呼ばれた画家熊谷守一の油彩画約100点を展示する特別展「小さな画面に無限の世界 熊谷守一展」を平成24年2月29日から4月10日まで予定しており、本議会の補正予算に債務負担行為として計上させていただいておりますのでよろしくお願いたします。

文化・芸術活動の成果を発表する場としてのギャラリーでは、市内小学生の約200点の図画作品を展示する「小学校図画展」を12月3日から11日まで開催いたします。

また、美術館の展覧会に関心を持つ人々に対する鑑賞の便宜を図り、かつ、美術館の活動を支援することを目的とした「オリーブ会」を10月1日から発足しました。11月14日現在122名の会員を集め、美術館を支える組織作りが順調に進んでおります。今後も美術館のファンが増え、地域の文化振興が図られるよう取り組んでまいります。

第66回国民体育大会への出場について

9月21日に市役所大会議室で、第66回国民体育大会「おいでませ！山口国体」の瀬戸内市激励会を開催し、市内在住の13名の選手・監督を各競技の県代表としてお送りしました。ボート競技4名、体操競技1名、バスケットボール競技3名、セーリング競技4名、フェンシング競技1名の選手たちは、『君の一生けんめいに会いたい』とのスローガンの下、出場競技を懸命にがんばり、健闘しました。そして、全国から参加した選手たちとの交流を深めました。

第25回備前長船菊花展の開催について

昭和61年に第1回菊花展が開催され、今年で25周年を迎えた備前長船菊花展（会場：長船町公民館）は、10月18日から11月13日まで開催し、約5千人の方々の来場をいただきました。

展示会場には「菊づくり講座」の受講生や愛好者の皆さん70名が丹精込めて育てた市の花「菊」が約650鉢、見事に咲き誇りました。

また、25周年の記念イベントとして、来場者に菊のポット苗や切り花をプレゼントして大変喜ばれました。

移動図書館について

図書館では、10月から市内の全保育園、幼稚園への移動図書館

サービスを開始いたしました。

このサービスは、すべての園児に「利用カード」を発行し、月に1回公用車に絵本を積んで各園を巡回するもので、図書館司書が絵本の読み聞かせなどの「おはなし会」をした後、すべての園児に2冊ずつ絵本を貸し出しています。様々な生活習慣が身につきはじめる幼児期に、本の楽しさや自分で選ぶ喜びとともに、図書館利用習慣も習得してもらえればと実施しています。

この事業により、新規登録者が約700名増え、予想される年間貸出増加数は、21,600冊で、図書館・室の総貸出は、前年対比で17.6%増加するものと予測しています。

サービス実施後、親子連れで図書館・室を訪れる市民もあり、「保育園に図書館が来て絵本を貸してくれたと喜んでいる、絵本をきっかけに子どもとの触れ合いが増えた」との声も聞かれるようになりました。

ただ、公用車による巡回サービスでは積載冊数が不十分なだけでなく、現地でコンテナの積み下ろしが必要で、業務が非効率なものとなっています。県下では、15市中11市で専用の移動図書館車両によるサービスを展開しており、当市でもその調達方法について検討していたところ、石川県七尾市立図書館から更新済み移動図書館車両を無償譲渡するとの申し出がありました。車両は平成11年11月の登録で走行距離も2万6千km程度で状態も良好なことが

ら、譲渡を受けた上で、平成24年度から当該車両で移動図書館サービスを実施することといたします。

また、「子育て安心基金」を活用した図書館による子育て支援施策の一環として、「手遊び・わらべ歌講座」や「絵本講座」、あるいは学校図書館の使命と役割に関する講演会やシンポジウム、前総務相の片山善博慶応大学教授を招いた「図書館と『知の地域づくり』」と題したフォーラムなど、様々な視点から瀬戸内市における新図書館のあり方を考えるプログラムを実施、計画しております。

以上をもって、教育委員会の行政報告とさせていただきます。

平成23年11月29日

瀬戸内市教育委員会

教育長 山崎 宗則